

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	若林日辺グラウンド
2 指定管理者	陽光セントラル三井物産F共同事業体
3 指定期間	平成30年4月1日～令和3年3月31日
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和2年度 12,915人（前年度比 121%） 令和元年度 10,669人 平成30年度 11,760人
	《事業》 少年サッカー交流大会 参加人員 200名
5 収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 5,694千円 (5,642千円) ・ その他市が負担した費用 84千円 (0千円) 《収入》 ・ 使用料収入 433千円 (621千円) ・ その他収入 21千円 (20千円)
	()は前年度決算額
6 利用者の声	《実施状況》 ※職員が常駐している施設でないため、利用者アンケートは実施していない。

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の設置目的に基づいた運営方針が確立されており、職員の理解のもとに、施設運営が行われている。	24/24
II 施設の運営管理体制	職員の配置及び開館状況は事業計画に相違なく、経理も適切に処理されている。 また、事故防止に向けた体制を構築し、安全に対する職員間の意識の浸透が概ね図られている。	30/30
III 施設・設備の維持管理	建物の内外及び設備について、安全の確保がなされ、利用者が快適に利用できるような状態を保持している。	23/23
IV サービスの質の向上	職員に対する接遇研修を行い、利用者が気持ちよく施設を利用できるような努力をしている。	24/24
V 施設固有の基準	協定書及び事業計画書のとおり、スポーツ教室等の自主事業を行い、市民のスポーツ振興に寄与した。	1/1

三 評価総括

《指定管理者（陽光セントラル三井物産F共同事業体）による自己評価》

運営業務、指揮系統を私たちが指定管理者を務めております今泉運動場の管理体制の中に組み込むことにより、供用時の適切な人員配置はもとよりそれ以外の日の定期巡回や日常清掃、不測の事態への迅速な対応など、効率的な管理運営を実現できたのではないかと考えます。施設利用者の意見を広く受け取る「利用者ボイス」の設置や、職員への定期的な各種研修の実施により高品質なサービスの提供に努め、危機管理に関しては大規模震災を想定した防災訓練、施設内での事故発生を想定した救命訓練等を実施し、安全に利用いただける施設環境づくりに努めました。施設利用時については各利用団体の代表者の方との打ち合わせや情報共有を徹底することにより、大規模な大会の際の適切な駐車場の利用や敷地外への車両駐車防止など近隣住民の方のご迷惑とならないような管理を心がけてまいりました。利用申し込みが無い日についても多目的グラウンドの定められた時間内での一般開放を適切に実施し、地域の方の運動の場、憩いの場として施設をご利用いただけました。施設維持管理面においては、管理業務仕様書に示される各種点検を適切に実施し、故障や事故につながる不具合の早期発見に努めました。また、快適な利用環境の維持向上を目指すべくクラブハウス内外の清掃、施設敷地内の除草を徹底いたしました。若林区のスポーツ少年団と連携し区内のチームによる少年サッカー交流大会を実施しました。普段あまり接することのないチーム同士と一緒に競技することにより、スポーツを通しての交流の促進ができました。

《施設設置者（仙台市）による評価》

施設の設置目的に基づいた運営方針が明確に示されており、職員全体として質の高いサービスの提供と業務の効率化、経費節減に努めている。

施設の運営管理体制については、職員の配置及び開館状況は事業計画に相違なく、経理も適切に処理されており、事故防止に向けた体制を構築し、安全に対する職員間の意識の浸透が概ね図られている。

施設設備の維持管理については、建物の内外及び設備について、安全の確保がなされ、利用者が快適に利用できるように状態を保持している。

サービスの質の向上については、職員に対する接遇研修を通じ、利用者が気持ちよく施設を利用できるように努力をしている。

その他にも、様々なスポーツ教室を開催するなど、市民のスポーツ振興及び普及に寄与している。

総合評価

S

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：文化観光局文化スポーツ部スポーツ振興課